

令和8年度

# ふくしまを 十七字で奏でよう

～同じ時間(とき) 感じて紡ぐ 十七字～

「ふくしまへ想い、願い」「生活のなかで体験したこと」  
「家族のふれあい」「震災の記憶」について、親子や祖父母と  
子のペア、子どもどうしで表現してみませんか。

【令和七年度 絆部門県北域内奨励作品】

おはようが 毎日言える 幸せを

子の夢へ 一歩進んだ ホツとする  
母 高校一年

香り立つ 台所から 母の声

香をたて 君の一日 包みたい  
母 高校一年

ぎりぎりで ドアの向こうに 手をふって

「いつてきます」 至福の言葉 空ひびく  
母 高校一年

絆結び 未来へ走る 夏の道

汗光る 同じゴールを 駆けぬけて  
母 高校一年

【令和七年度 ふるさと部門県二次選考通過作品】

夕立の 故郷の風 匂い立つ

風光る 石段登る 帰り道  
母 高校一年

祖父

【令和七年度 ふるさと部門県北域内奨励作品】

若桃が 頬を赤らめ 競い合う

暁が あけるとともに 収穫だ  
母 高校一年

味自慢 福島の桃 ああうまい

桃食べて 心も体も ハッピーチ  
父 高校一年

車から ピント合わない イナゴかな

なつかしき 田んぼではしる イナゴとり  
母 高校一年

ふるさとの 母の声聞き 夏の空

盆休み 息子と帰る 我が実家  
母 高校一年

祖母の家 とれたて野球 夏の味

なつかしの 風鈴の音 きもちいな  
母 高校一年

高校一年

～ 作品の題材の例 ～

- 親や祖父母が子や孫の成長を嬉しく思う気持ち
- 子どもが祖父母や親に感謝する気持ち
- 子どもがこれからの夢や希望を抱く気持ち
- 親や自分が育った地域のよさに思いを寄せる気持ち
- 親子で海や山などの自然の豊かさを感じた体験
- 部活動での友人どうしの心の交流



「ふくしま応援! 『ベコ太郎』」

## ふくしま絆ふれあい支援事業

【募集期間】 令和8年

6月8日(月)～9月4日(金)

【応募方法】 ○学校、市町村教育委員会、公民館または、  
県北教育事務所に配布された応募用紙を  
使用し応募してください。

○高校生は、応募フォームからも応募できます。

○教育庁社会教育課のホームページから応  
募用紙はダウンロードできます。



高校生専用  
応募フォーム



社会教育課  
ホームページ

【応募先】 学校、市町村教育委員会、公民館、県北教育事務所

【応募規定】 ○絆部門・・・日常生活の体験を題材としたもの

○ふるさと部門・・・福島のよさや震災の記憶、未来への願い

子と親、子と子、子と大人(祖父母などどなたでも)での  
ペアで五・七・五を基本に十七字で作品を作ります。

【表彰】 ◇最優秀賞(各部門5組程度) ◇優秀賞(各部門5組程度)  
◇佳作(各部門10組程度)

優秀な作品を表彰します。また、福島県教育庁社会教育課  
のホームページ、X(旧Twitter)等で全国へ発信します。

【問合せ】 福島県教育庁県北教育事務所 総務社会教育課  
福島市杉妻町2番16号 024-521-2814